

履修モデル1（2年で修了する場合）

養成する人材・・・高度専門職業人（看護実践のリーダー）

授 業 科 目			配当 年次	単位数		履修方法及び修得単位数		修了要件
				必修	選択	1 年次	2 年次	
共通科目	共通必修科目	看護理論	1 後	2		2		必修科目 3 科目 6 単位を履修すること。
		看護学研究方法論Ⅰ	1 前	2		2		
		看護学研究方法論Ⅱ	1 後	2		2		
		小計（3 科目）	－	6	0	6		
	共通選択科目	沖縄のケアリング文化	1 前		1	1		4 科目 8 単位以上履修すること。 うち 4 単位は、国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。
		看護教育学	1 前		2			
		看護倫理学	1 後		1	1		
		看護管理学	1 後		2			
		コンサルテーション論	1 後		2	2		
		ヘルスプロモーション論	1 後		2			
		包括的健康アセスメント	1 前		2			
		病態生理学	1 後		2	2		
		臨床薬理学	1 後		2			
		健康栄養学	1 後		2			
英語講読	1 前		2					
小計（11 科目）	－	0	18	8				
専門科目	基盤看護学分野	基盤看護学特論Ⅰ	1 前		2		基盤看護学分野または臨床看護学分野のいずれかを選択し、特論Ⅰ及び特論Ⅱの 2 科目 4 単位以上履修すること。	
		基盤看護学特論Ⅱ	1 後		2			
		小計（2 科目）	－	0	4	0		
	臨床看護学分野	臨床看護学特論Ⅰ	1 前		2	2		
		臨床看護学特論Ⅱ	1 後		2	2		
		小計（2 科目）	－	0	4	4		
演習・研究科目	専門演習	1 通	4		4		専門演習 4 単位、特別研究 8 単位を履修すること。	
	特別研究	2 通	8			8		
	小計（2 科目）	－	12	0	12			
修得単位数合計						30		
<u>□修了要件の 30 単位のうち、共通選択科目の 4 単位は、国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。</u>								

修了生の進路

- ・地域の看護需要に対応して問題を解決するための指導的役割を果たす看護実践のリーダー
 - (1) 病院
 - (2) 訪問・在宅事業所
 - (3) 行政機関（保健所等）
 - (4) 国際保健分野（NGO 等）
 - (5) 学校・教育機関・企業等（メンタルヘルスケアの実践者）

履修モデル2（2年で修了する場合）

養成する人材・・・教育者・研究者

授 業 科 目			配当 年次	単位数		履修方法及び修得単位数		修了要件
				必修	選択	1 年次	2 年次	
共通科目	共通必修科目	看護理論	1 後	2		2		必修科目 3 科目 6 単位を履修すること。
		看護学研究方法論Ⅰ	1 前	2		2		
		看護学研究方法論Ⅱ	1 後	2		2		
		小計（3 科目）	－	6	0	6		
	共通選択科目	沖縄のケアリング文化	1 前		1	1		4 科目 8 単位以上履修すること。 うち 4 単位は、国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。
		看護教育学	1 前		2	2		
		看護倫理学	1 後		1	1		
		看護管理学	1 後		2	2		
		コンサルテーション論	1 後		2	2		
		ヘルスプロモーション論	1 後		2			
		包括的健康アセスメント	1 前		2			
		病態生理学	1 後		2			
		臨床薬理学	1 後		2			
		健康栄養学	1 後		2			
英語講読	1 前		2					
小計（11 科目）	－	0	18	8				
専門科目	基盤看護学分野	基盤看護学特論Ⅰ	1 前		2	2	基盤看護学分野または臨床看護学分野のいずれかを選択し、特論Ⅰ及び特論Ⅱの 2 科目 4 単位以上履修すること。	
		基盤看護学特論Ⅱ	1 後		2	2		
		小計（2 科目）	－	0	4	4		
	臨床看護学分野	臨床看護学特論Ⅰ	1 前		2			
		臨床看護学特論Ⅱ	1 後		2			
		小計（2 科目）	－	0	4	0		
演習・研究科目	専門演習	1 通	4		4		専門演習 4 単位、特別研究 8 単位を履修すること。	
	特別研究	2 通	8			8		
	小計（2 科目）	－	12	0	12			
修得単位数合計						30		
<u>□修了要件の 30 単位のうち、共通選択科目の 4 単位は、国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。</u>								

修了生の進路

- ・地域の健康課題をテーマに継続的に研究する教育者と研究者
 - (1) 病院（臨地における教育担当者）
 - (2) 行政機関（保健所等の継続教育担当者）
 - (3) 専門職能団体（継続教育担当者）
 - (4) 看護専修学校（教育者）
 - (5) 看護系大学（教育者・研究者）
 - (6) 博士後期課程進学

履修モデル3（3年で修了する場合：長期履修生）

養成する人材・・・高度専門職業人（看護実践のリーダー）

授 業 科 目			配当 年次	単位数		履修方法及び修得単位数			修了要件
				必修	選択	1 年目	2 年目	3 年目	
共通科目	共通必修科目	看護理論	1 後	2			2		必修科目 3 科目 6 単位を履修すること。
		看護学研究方法論Ⅰ	1 前	2		2			
		看護学研究方法論Ⅱ	1 後	2		2			
		小計（3 科目）	－	6	0	6			
	共通選択科目	沖縄のケアリング文化	1 前		1	1			4 科目 8 単位以上履修すること。 うち 4 単位は、国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。
		看護教育学	1 前		2				
		看護倫理学	1 後		1	1			
		看護管理学	1 後		2				
		コンサルテーション論	1 後		2	2			
		ヘルスプロモーション論	1 後		2				
		包括的健康アセスメント	1 前		2		2		
		病態生理学	1 後		2		2		
		臨床薬理学	1 後		2				
		健康栄養学	1 後		2				
英語講読	1 前		2						
小計（11 科目）	－	0	20	8					
専門科目	基盤看護学分野	基盤看護学特論Ⅰ	1 前		2			基盤看護学分野または臨床看護学分野のいずれかを選択し、特論Ⅰ及び特論Ⅱの 2 科目 4 単位以上履修すること。	
		基盤看護学特論Ⅱ	1 後		2				
		小計（2 科目）	－	0	4	0			
	臨床看護学分野	臨床看護学特論Ⅰ	1 前		2	2			
		臨床看護学特論Ⅱ	1 後		2	2			
		小計（2 科目）	－	0	4	4			
演習・研究科目	専門演習	1 通	4			4		専門演習 4 単位、特別研究 8 単位を履修すること。	
	特別研究	2 通	8				8		
	小計（2 科目）	－	12	0	12				
修得単位数合計						30			
□修了要件の 30 単位のうち、共通選択科目の 4 単位は、国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。									

修了生の進路

- ・地域の看護需要に対応して問題を解決するための指導的役割を果たす看護実践のリーダーとして、所属機関で活躍する。
- (1) 病院 (2) 訪問・在宅事業所 (3) 行政機関（保健所等） (4) 国際保健分野（NGO 等）
- (5) 学校・教育機関・企業等（メンタルヘルスケアの実践者）

履修モデル4（3年で修了する場合：長期履修生）

養成する人材・・・教育者・研究者

授 業 科 目			配当 年次	単位数		履修方法及び修得単位数			修了要件
				必修	選択	1 年目	2 年目	3 年目	
共通科目	共通必修科目	看護理論	1 後	2			2		必修科目 3 科目 6 単位を履修すること。
		看護学研究方法論Ⅰ	1 前	2		2			
		看護学研究方法論Ⅱ	1 後	2		2			
		小計（3 科目）	-	6	0	6			
	共通選択科目	沖縄のケアリング文化	1 前		1	1			4 科目 8 単位以上履修すること。 うち 4 単位は、国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。
		看護教育学	1 前		2	2			
		看護倫理学	1 後		1	1			
		看護管理学	1 後		2		2		
		コンサルテーション論	1 後		2		2		
		ヘルスプロモーション論	1 後		2				
		包括的健康アセスメント	1 前		2				
		病態生理学	1 後		2				
		臨床薬理学	1 後		2				
		健康栄養学	1 後		2				
英語講読	1 前		2						
小計（11 科目）	-	0	18	8					
専門科目	基盤看護学分野	基盤看護学特論Ⅰ	1 前		2			基盤看護学分野または臨床看護学分野のいずれかを選択し、特論Ⅰ及び特論Ⅱの 2 科目 4 単位以上履修すること。	
		基盤看護学特論Ⅱ	1 後		2		2		
		小計（2 科目）	-	0	4	4			
	臨床看護学分野	臨床看護学特論Ⅰ	1 前		2				
		臨床看護学特論Ⅱ	1 後		2				
		小計（2 科目）	-	0	4	0			
演習・研究科目	専門演習	1 通	4			4		専門演習 4 単位、特別研究 8 単位を履修すること。	
	特別研究	2 通	8				8		
	小計（2 科目）	-	12	0	12				
修得単位数合計						30			
□修了要件の 30 単位のうち、共通選択科目の 4 単位は、国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。									

修了生の進路

- ・地域の健康課題をテーマに継続的に研究する教育者と研究者として、所属機関で活躍する。
 - (1) 病院（臨地における教育担当者）
 - (2) 行政機関（保健所等の継続教育担当者）
 - (3) 専門職能団体（継続教育担当者）
 - (4) 看護専修学校（教育者）
 - (5) 看護系大学（教育者・研究者）
 - (6) 博士後期課程進学

履修モデル5（2年で修了する場合（CNS））

養成する人材・・・高度専門職業人（がん看護専門看護師）

授 業 科 目			配当 年次	単位数		履修方法及び修得単位数		備考
				必修	選択	1 年目	2 年目	
共通科目	共通必修科目	看護理論	1 後	2		2		5 科目 10 単位履修すること。
		看護学研究方法論Ⅰ	1 前	2		2		
		包括的健康アセスメント	1 前	2			2	
		病態生理学	1 後	2		2		
		臨床薬理学	1 後	2		2		
		小計（5 科目）	-	10	0	10		
	共通選択科目	看護教育学*	1 前		2	2		「看護教育学」「看護管理学」「コンサルテーション論」の3 科目 6 単位から2 科目 4 単位以上履修すること。
		看護管理学*	1 後		2	2		
		コンサルテーション論*	1 後		2	2		
		看護学研究方法論Ⅱ	1 後		2	2		
		沖縄のケアリング文化	1 前		1	1		
		看護倫理学	1 後		1	1		
ヘルスプロモーション論		1 後		2	2			
健康栄養学		1 後		2	2			
英語講読	1 前		2	2				
小計（9 科目）		-	0	16	16			
専門科目	がん病態治療学特論	1 前	2		2		11 科目 24 単位以上履修すること。	
	臨床看護学特論Ⅰ	1 前	2		2			
	臨床看護学特論Ⅱ	1 後	2		2			
	緩和ケア特論Ⅰ	1 前	2		2			
	緩和ケア特論Ⅱ	1 前	2		2			
	緩和ケア特別演習Ⅰ	1 後	2			2		
	緩和ケア特別演習Ⅱ	1 後	2			2		
	がん看護学実習Ⅰ	2 前	2			2		
	がん看護学実習Ⅱ	2 前	2			2		
	がん看護学実習Ⅲ	2 前	4			4		
	がん看護学実習Ⅳ	2 前	2			2		
	小計（11 科目）		-	24	0	24		
研究科目・演習	課題研究Ⅰ	1 後	2		2		課題研究Ⅰ 2 単位、課題研究Ⅱ 4 単位を履修すること。	
	課題研究Ⅱ	2 通	4			4		
	小計（2 科目）		-	6	0	6		
修得単位数合計						44		

*は CNS コースにおける選択必修科目である。

□修了要件の 44 単位のうち 38 単位は CNS コースの必修科目である。

□国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。

修了生の進路

・地域の看護需要に対応して問題を解決するための指導的役割を果たす看護実践のリーダーとして、所属機関で活躍する。

- (1) 病院
- (2) 訪問・在宅事業所
- (3) 行政機関（保健所等）
- (4) 国際保健分野（NGO 等）
- (5) 学校・教育機関・企業等（メンタルヘルスケアの実践者）

履修モデル6（3年で修了する場合：長期履修生（CNS））

養成する人材・・・高度専門職業人（がん看護専門看護師）

授 業 科 目			配当 年次	単位数		履修方法及び修得単位数			備考
				必修	選択	1 年目	2 年目	3 年目	
共通 選 択 科 目	看護理論 看護学研究方法論Ⅰ 包括的健康アセスメント 病態生理学 臨床薬理学	1 後	2		2			5 科目 10 単位履修すること。	
		1 前	2		2				
		1 前	2		2				
		1 後	2		2				
		1 後	2			2			
		-	10	0	10				
	看護教育学* 看護管理学* コンサルテーション論* 看護学研究方法論Ⅱ 沖縄のケアリング文化 看護倫理学 ヘルスプロモーション論 健康栄養学 英語講読	1 前		2	2			「看護教育学」「看護管理学」「コンサルテーション論」の 3 科目 6 単位から 2 科目 4 単位以上履修すること。	
		1 後		2	2				
		1 後		2	2				
		1 後		2	2				
		1 前		1	1				
		1 後		1	1				
		1 後		2	2				
		1 後		2	2				
	1 前		2	2					
	-	0	16	16					
	専門科目	がん病態治療学特論	1 前	2		2			11 科目 24 単位以上履修すること。
臨床看護学特論Ⅰ		1 前	2		2				
臨床看護学特論Ⅱ		1 後	2		2				
緩和ケア特論Ⅰ		1 前	2		2				
緩和ケア特論Ⅱ		2 前	2			2			
緩和ケア特別演習Ⅰ		1 後	2		2				
緩和ケア特別演習Ⅱ		2 後	2			2			
がん看護学実習Ⅰ		2 後	2			2			
がん看護学実習Ⅱ		3 前	2				4		
がん看護学実習Ⅲ		3 前	4				4		
がん看護学実習Ⅳ		3 前	2				2		
-		24	0	24					
研究科目 ・ 演習	課題研究Ⅰ	1 通	2			2		課題研究Ⅰ 2 単位、 課題研究Ⅱ 4 単位を履修すること。	
	課題研究Ⅱ	2 通	4				4		
	-	6	0	6					
修得単位数合計			44		44				
*は CNS コースにおける選択必修科目である。									
□修了要件の 44 単位のうち 38 単位は CNS コースの必修科目である。									
□国際文化研究科（修士課程）の共通科目及び教育研究領域科目（演習科目除く）並びにスポーツ健康科学研究科（修士課程）の共通科目及び専門科目から履修することができる。									

修了生の進路

・地域の看護需要に対応して問題を解決するための指導的役割を果たす看護実践のリーダーとして、所属機関で活躍する。

- (1) 病院
- (2) 訪問・在宅事業所
- (3) 行政機関（保健所等）
- (4) 国際保健分野（NGO 等）
- (5) 学校・教育機関・企業等（メンタルヘルスケアの実践者）